

## フジコナカイガラムシ（カキ）の防除適期予測

### 1 防除対象

フジコナカイガラムシ（カキ）第1世代若齢幼虫

### 2 予測ふ化盛期

6月19日～6月23日

### 3 対象地域

下伊那地域（標高400～700m）

### 4 予測防除適期

1回目は表1の予測ふ化盛期から1週間以内

2回目は表1の予測ふ化盛期から約4週間後

### 5 2024年の予測

本年のフェロモントラップによる越冬世代のフジコナカイガラムシ雄成虫の捕獲盛期は5月21日であった。そこから予測されるフジコナカイガラムシの第1世代のふ化盛期は、6月19日から6月23日である（表1）。

表1 フジコナカイガラムシの生育予測

調査地点	飯田市座光寺	南信農業試験場	高森町牛牧
標高	400m	560m	680m
越冬世代の雄成虫の捕獲盛期	5月21日	5月21日	5月21日
予測 ふ化盛期	6月19日	6月21日	6月23日
予測 2齢幼虫の発生盛期	7月2日	7月5日	7月8日
予測 3齢幼虫の発生盛期	7月10日	7月13日	7月16日

### 6 防除のポイント

フジコナカイガラムシのふ化は予測ふ化盛期から長期間続く。ふ化前の卵や齢期が進むと防除効果が低いので、フジコナカイガラムシの防除適期は1～2齢の若齢幼虫期である。

ふ化して間もない幼虫が多い予測ふ化盛期に1回目の防除を行い、約4週間後に2回目の防除を行うとよい。